

【2024 年度地域連携事業費報告書】

全面発達を目指す保育実践研修会の開催とネットワークの構築

代 表 者：和久田 佳代(社会福祉学部・国際教育学部)

連 携 機 関：浜松リズム遊びの会、クリストファーこども園

【概要】

都市化、情報化に加え、コロナ禍の影響の下、少子化が加速し、乳幼児の育つ環境はますます厳しいものとなっている。0,1 歳から保育園を利用する乳幼児が増加しており、楽しく主体的な遊びを通じた全面発達を促すことができる質の高い保育が求められる。

このような背景の下、浜松市内で「斎藤公子の保育実践」、「さくら・さくらんぼのリズムあそび」を取り入れている複数の園の保育者が、その学びを深め子どもの発達を保障したいという思いから、『浜松リズム遊びの会』を立ち上げようとしていた（2023 年度）。

斎藤公子の保育実践は、自然を教師とし、生物進化発展の法則に則って、子どもの全面発達を目指した実践であり、乳児期の保育、障害児保育、リズムあそびの実践、描画などに特徴があり、近年は中国やベトナムでも注目されている。

2024 年度は、斎藤公子先生の遺志を継ぎ、発展させようと尽力し続けている前田綾子先生(岐阜県くさぶえ保育園園長)と斎藤保育と共通性のある河添理論の「ほう運動遊びで育つ子どもたち」著者の今井寿美枝先生(群馬県児童発達支援施設ゆうゆう施設長)を浜松に招き、研修会を開催することを計画し、実施した。

本事業を通して、以下のような成果が得られた。

- ① 「斎藤公子の保育実践」、「さくら・さくらんぼのリズムあそび」の意義、内容、方法を、浜松市内及び周辺地域の保育士や卒業生に伝達することができ、保育内容、保育の質の向上につながるとともに、継続的な実施体制が整ってきている。
- ② 園内研修の枠を超えて、複数園の保育士や卒業生の集まる場となり、情報交換、学び合いの場となった。

【目的】

本事業の目的は、全面発達を目指す斎藤公子の保育実践や河添理論についての研修会を開催し、地域の保育・幼児教育の質の向上に貢献し、また情報交換や学習会のネットワークを広げていくことである。特に、リズムあそび、乳児保育、障害児保育をテーマに行う。

【方法・実施内容】

1. リズム遊び実践研修会の開催

講師に前田綾子先生(岐阜県くさぶえ保育園園長、斎藤公子保育自然学校、『イラスト版 斎藤公子 さくら・さくらんぼリズム遊び』編著者)を招き、3 回の研修会を開催し、延べ 197 名の参加者があった。計画では 2 回であったが、参加者からのニーズがあり、第 3 回を実施した。

回	日時	参加者数	テーマ 内容
1	2024 年 7 月 20 日(土)	88	基礎編 基本のリズム、1~2 歳児・3~5 歳児のリズム
2	2024 年 9 月 28 日(土)	70	乳児編 0~2 歳児のリズム 『からだの軸をつくる』
3	2025 年 2 月 8 日(土)	39	深掘り編 年長の卒園期のリズム遊び

いずれも 9:15~12:15 場所:たんぼぼ保育園ホール

【2024年度地域連携事業費報告書】

(2)河添理論「はう運動遊び」研修会（関連事業）2024年5月24日、25日

講師に今井寿美枝先生（群馬県児童発達支援施設チャイルドハウスゆうゆう施設長）を招き、クリストファーこども園、ながかみ保育園において、各園の職員研修会として実施した。本研修は関連事業であり、本学事業費は使用していない。

2. 意見交換会、交流会の開催

研修会の際に集まった保育士、保育教諭で講師を囲んで、意見交換し学びあうことができ、受講後アンケートを通して地域のニーズを知ることができた。

参加者の受講後アンケートの一部を以下に抜粋する。

（第1回7月の受講者アンケートより）

♪それぞれの種目の細かいところが分かり、実践的な内容でした。

♪実際に身体を動かしたことで、自分の動きのクセがわかり、子どもに対してどう関わったらいいかわかりました。

♪たっぷり身体を動かす事の気持ちよさを体感できました。

♪子どもたちと一緒にやれたら、子どもたちのとびきりの笑顔が見られるイメージがわきました。

♪動き一つひとつの意味を発達と絡めて説明いただけたことが、とても参考になりました。繰り返し学びたいです。

（第2回9月の受講者アンケートより）

♪リズムは動いて楽しい、動くことで心も体も開放されていくことを実体験の中で自分自身感じています。目の前の子どものあらわれをどう分析していくのか学ぶことがたくさんありました。

♪改めて、生活と遊びは切り離せないもので、生活、その中にリズム遊びがあって、不足しているところを1対1で丁寧に働きかけていくこと、毎日の積み重ねが大事とわかりました。

♪汽車の新しいリズムでつながる楽しさを感じました。組み合わせとやり方で別のものを感じられ、リズムのポイントをおさえてやる大切さと動く楽しさ、みんなでつくる楽しさを感じました。

♪主体的に前に出ていくこと、ピアノの人にお任せでなく、みんなでつくりあげていくことが子どもにも大人にも力になっていくと思いました。

（第3回2月の受講者アンケートより）

♪まず保育者自身が楽しんだり、子どもが楽しいと思えることが大切だとわかりました。

♪リズムはこうあるべきではなく、自分達で作りあげていくものとの講師の言葉が胸に刺さりました。

♪小さいうちからの身体の土台づくりも大切だな～感じた。

♪できる、できない、ではなく、楽しむこと、分からないところを教えてもらう ことの大切さを改めて実感しました。まずは大人が楽しむことを大切にしていけたらと思います。

♪正しくやることより、楽しくやる、が1番大切なんだと改めて感じた。できなくても一生懸命やる姿勢が大切!!そういう姿を子どもたちに見せたい。一緒にリズムを楽しみたい。

3. 情報発信

研修会の様子を大学HPインフォメーションの記事として、また国際教育学部インスタグラム記事として発信した。これにより、在学生・卒業生をはじめ、地域の保育者などに研修会の開催の様子を伝達することができた。

2025年3月29日に行われた公開講座においても、2025年度に計画しているリズム遊び実践研修会の案内をしたところ、新たに7名から情報提供の希望があった。

【2024 年度地域連携事業費報告書】

(1) 大学 HP インフォメーション 2024 年 10 月 14 日



聖隷クリストファー大学
SEIREI CHRISTOPHER UNIVERSITY

大学概要 / 学部・大学院・専門学校 / キャンパスライフ / 就職・キャリア / 入試情報 / 研究・地域連携

受験生の方 | 在学生の方 | 卒業生の方 | 父母等の方 | 地域・一般の方 | 高校教員の方

EN Q

インフォメーション

[国際教育学部：教育] 和久田佳代教授 地域連携事業 全面発達を目指す保育実践研修会の開催

7月20日(土)と9月28日(土)に、たんぼ保育園(浜松市中央区初生)ホールにて、浜松リズム遊びの会主催「リズム遊び実践研修会」が開催されました。『イラスト版斎藤公子さくら・さくらんぼリズム遊び』の著者である前田綾子先生(岐阜くさぶえ保育園園長)を講師に迎え、各回とも約90名の参加者があり、本学の卒業生、学生も参加しました。



このリズム遊びは、子どもの育ちが懸念され始めた高度成長期に子どもの全面発達を目指した斎藤公子氏(1920-2009)の実践から生まれ、全国に広がりました。都市化、情報化が子どもの育ちを阻む現代にこそ、より必要とされ、現在も多くの園で取り入れられています。

第3回実践研修会を2025年2月8日(土)に計画中です。子どもたちの全面発達を目指し、この学びが広がることを願っています。

(2) 国際教育学部インスタグラムでの発信 2024 年 10 月 5 日



seirei_kodomo ・ フォロー中

seirei_kodomo 編集済み・ 28週間前
9月28日(土)に、たんぼ保育園(浜松市中央区初生)ホールにて、「リズム遊び実践研修会」が開催されました。
『イラスト版斎藤公子さくら・さくらんぼリズム遊び』の著者である前田綾子先生(岐阜くさぶえ保育園園長)を講師に迎え、約90名の参加者があり、本学の卒業生、学生も参加しました。

hamacitypatterson、その他が「いいね!」しました
2024年10月5日

コメントを追加...

【2024 年度地域連携事業費報告書】

【地域との連携における成果と課題】

1. 地域の保育・幼児教育の質の向上

全面発達を目指した「斎藤公子の保育実践」、「さくら・さくらんぼのリズムあそび」、河添理論、「はう運動遊び」の意義、内容、方法を、浜松市内の保育士や卒業生に伝達することができ、保育内容、保育の質の向上に貢献できた。参加者は「保育士も一緒に楽しむ、子どもが『やりたい』と思えるリズム遊びにしていくことが大切」、「楽しいと思うと自然に体が動くことが感じられ、もっとやってみたいなと思えた」、「リズムはこうあるべきではなく自分達で作ってあげていくもの」など、リズム遊びの大切さ、楽しさを自ら実感する場となり、日々の保育の楽しさ、深さ、根拠をもった実践につながっていくと考えられた。

2. 情報交換、学び合いの場

園内研修の枠を超えて、複数園の保育士や卒業生の集まる場となり、情報交換、学び合いの場となり、浜松リズム遊びの会の継続的な研修会の実施へつなげることができた。

3. 卒業生、学生のネットワークづくり

研修会には、卒業生、在校生がともに参加し、学び合うとともに情報交換を行うことができた。園の様子を聞くことができ、実習やインターンシップの依頼や就職活動につながる関係が築けた。

「さくら・さくらんぼのリズムあそび」は、浜松市内の多くの園で取り入れられている。しかし、取り入れられた時代の保育者が定年退職していくと若い保育者にとっては園で今までやっていたからという理由だけでそのリズム遊びにどのような背景や意義があるのか知らずに実施していることも多い。「リズム遊び実践研修会」に参加することで、その背景・意義を知ること、根拠をもって実践することにつながるとともに、他園での工夫などを情報交換することができ、実践の質の向上につながると考えられた。

今後の課題としては、受講アンケートから「保護者と子どもの育ちの共有がしにくい」「園全体の学びにならない」「若手保育士にリズム遊びの楽しさを伝えること」「苦手意識の強い子への声かけやアプローチ」「グレーゾーンや障がいを持っている子のグループでやれること」「弱さをもつ子へのアプローチ方法」「ピアノの技術を強化」などがあげられた。

浜松リズム遊びの会では、2025 年度も 3 回の研修会の開催を計画しており、既に講師の依頼、日程の調整ができています。(2025 年 6 月 14 日、9 月 7 日、11 月 29 日) この研修会をさらに意義あるものにするために、参加者のすそ野を広げ、卒業生を含むより多くの保育者や発達支援に関わる人の参加につながる情報発信を工夫していくことが必要である。

また、2024 年度の事業を通して、乳児(0 歳児)の育ちが重要であることがより強く認識されたため、乳児(0 歳児)の育ちをサポートする事業を新たに実施していく。

該当欄の□を■にし、必要事項を記入してください

倫理審査	<input type="checkbox"/> 承認番号 () <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない		
利益相反	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり ()		
発表状況	種 別	<input type="checkbox"/> 著書 <input type="checkbox"/> 論文 <input type="checkbox"/> 学会発表 <input checked="" type="checkbox"/> 紀要 <input type="checkbox"/> その他 ()	
	年月日	2024 年 9 月 30 日 (<input checked="" type="checkbox"/> 確定 <input type="checkbox"/> 予定)	